

文部科学省 大学の世界展開力強化事業

CAMPUS Asia⁺ EEST

九州大学、釜山国立大学校、上海交通大学、
マレーシア工科大学による協働教育

留学、国際交流を利用した
エネルギー環境工学グローバル人材育成プログラム

修士課程ダブルディグリー/博士課程ダブルディグリー





Energy and Environmental Science and Technology,
Advanced School of International Alliance (EESTASIA)

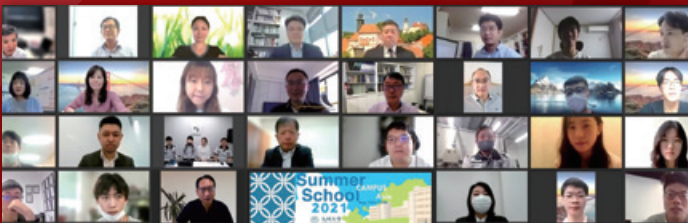
CAMPUS Asiaで総合理工学府から世界へ！ あなたのGlobal Careerの礎に！

自らの専門に加え英語力を磨き、4国の先生からエネルギー環境理工学を学ぶ。
さまざまなアクティビティを通してアジア文化への理解を深めながら、グローバル
に活躍する次世代リーダーを目指してチャレンジしよう！



CAMPUS Asia とは？

文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」のうち、日中韓三ヶ国の大学が協働して行う教育事業です。総合理工学府に設置された本プログラムでは第3モードを機にASEANへの拡大を計り、新たにマレーシア工科大学とパートナーシップを締結しました。CAMPUS Asia Plus EESTは四ヶ国協働となり、アジアの多様性を抱合した理工系高等教育の場へと発展していきます。



CAMPUS Asia Plus EESTとは九州大学 (KU) が上海交通大学 (SJTU)、釜山国立大学校 (PNU)、マレーシア工科大学 (UTM) とでコンソーシアムを形成し、エネルギー問題とそれに関係する環境問題に関わる科学と技術 (Energy and Environmental Science and Technology (EEST) : エネルギー環境理工学) 分野において、深い専門性とその国際的な応用展開能力を備えたグローバルに活躍できる高度研究者・技術者を育成するために開発した協働教育体系です。

修士課程コースでは半期の留学と2回のサマースクールでの単位取得と単位移管・互換制度により、母大学と留学先大学の両方の修士課程修了要件を満たし、両大学に共通の英語の修士論文によりダブルディグリー (母大学と留学先大学の両方の修士の学位) 取得が可能です。 ※博士課程ダブルディグリー留学先については釜山国立大学校のみ可能で、1年間の留学と両大学にそれぞれ学位論文提出が必要です。

アジア全域をホームグラウンドとするグローバル人材の養成を目指して
4大学が協働し、学生・研究者の交流を活性化させる

PNU

釜山国立大学校

工学系列



SJTU

上海交通大学大学院

機械与動力工程学院 中英国際低炭素学院
材料科学与工程学院 化学与化学工程学院
環境科学与工程学院



KU

九州大学大学院

総合理工学府



UTM

マレーシア工科大学

機械工学科



エネルギー
環境理工学
国際コース

九大と留学先大学との
両方で修士/博士の学
位(ダブルディグリー)
が取得できます。
※博士課程は釜山国立
大学校のみ

SJTUの大学院修了式にて



学位記

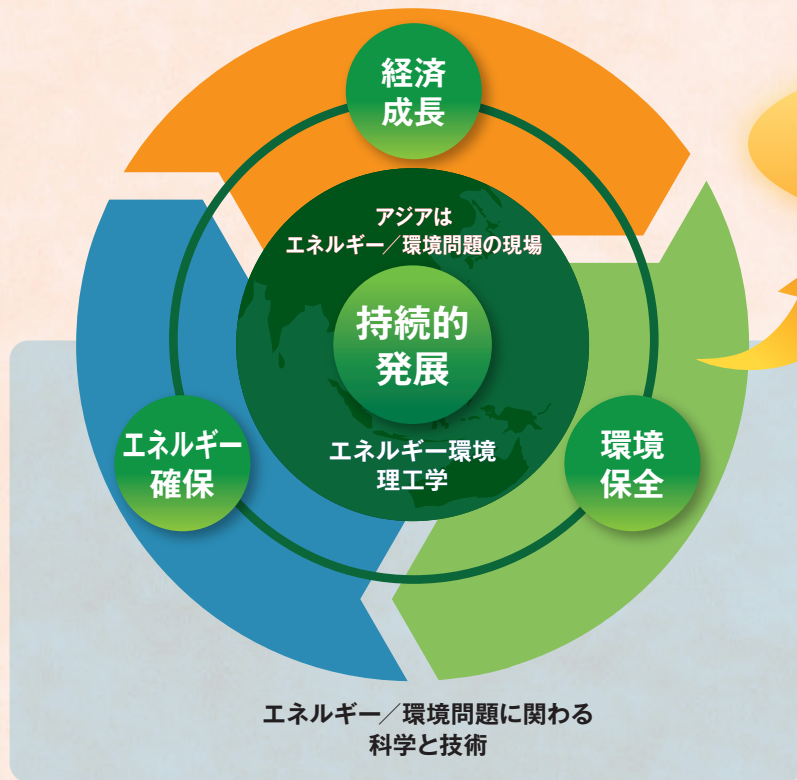


修了證書

PNUの大学院修了式にて



エネルギー環境理工学とアジア



アジアで育て
アジアから世界に発信

科学技術 人材育成

ダブルディグリーを取得した世界的に活躍できる高度研究者・技術者

- ①専門分野の深い知識とそれに基づく研究開発能力
- ②現状の理解と発展的考察力
- ③グローバルに活動するために必要な英語によるコミュニケーション力
- ④研究者・技術者倫理、異国の文化・人・社会の理解

エネルギー環境理工学国際コース(EEST-ASIAコース)

通常の修了年限内でダブルディグリーが取得可能(修士課程コース)

協働大学合同のコース修了証明書

既存の専門教育カリキュラム

- 各大学で開講している専門基礎科目を利用(原則)
- 単位互換/移管による相互認定
- 客員教員任用による正規授業化
- 教育手法や評価法の共有・共通化(合同(分担)授業の開講、講義資料の共同開発)

エネルギー環境理工学国際コース(EESTコース)カリキュラム

- エネルギー環境理工学グローバル人材の育成のための協働教育カリキュラム
インターンシップ課目、課題解決型課目、研究者・技術者倫理(知財を含む)課目、実践科学技術課目等々
- 各大学のカリキュラムへ組み込み、半期の留学とサマースクールやセミナー等を利用した4大学共同の開講、運営(サマースクールは国内外の大学にオープン化)

修士論文研究 論文内容評価の共通化

- 中間審査、最終発表審査は2大学共通の審査委員会にて実施
- 英語による2大学共通の修士論文を、それぞれの大学の審査委員会で審査

英語教育

- 実践英語教育科目、修学を通しての英語スキルの向上
- 英語力基準と年度別達成度を設定(日常・ビジネスコミュニケーション、専門英語力)
- TOEIC等受験による向上度の定量的追跡

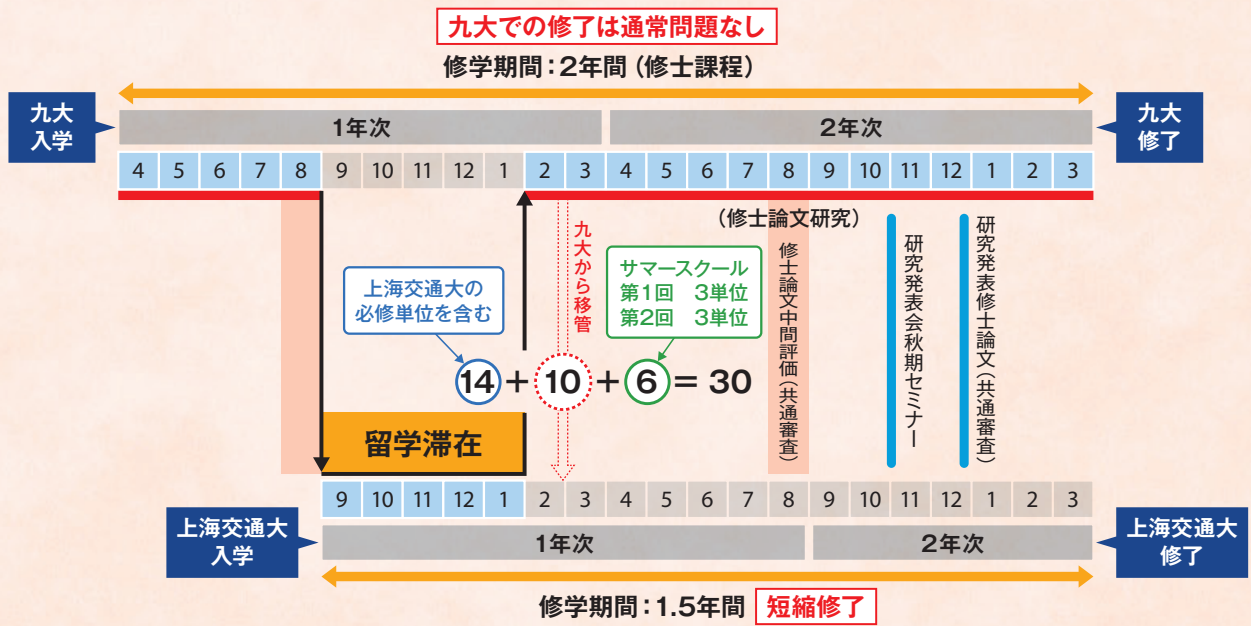
文化、語学などに関する教育

- 各大学が留学生対象に開設している課目を留学中に履修

質保証

国際人養成

修士ダブルディグリー（九大と上海交通大）取得のための修学パターン（一例）



Native English Speaking Teachers
による少人数実践英語教室



企業研修



オンライン合同修士論文審査

現所属メジャーの専門の履修、修士論文の学位の取得に加えて

エネルギー環境理工学国際コースで開設される

- 英語のスキルアップのための授業（週1回、15週程度）
- サマースクール（夏休みに10日間、2回、参加大学が輪番で開催）
- 英語により開講される授業を、留学生と一緒に履習し、

これにより取得した単位のほとんどは、総合理工学府修了要件として必要な単位として認められる。

EEST-ASIAコース修了証（協働大学の責任者が署名）を取得

釜山国立大学校、上海交通大学あるいはマレーシア工科大学へ留学（M1後期）。
留学先で所定の単位を取得、英語の修士論文の審査に合格

ダブルディグリーコース生 **ダブルディグリー取得**
大学総長が署名したダブルディグリー取得証明書を授与

非ダブルディグリー生
コース修了証明書を授与

参加費用は基本的には大学(国)が負担します

以下については大学が準備・負担します

EEST-ASIA 国際コース受講のための経費

サマースクール受講料・渡航費および滞在費(海外開催の場合)

同コースのための校外学習費

英語のスキルアップのための受講料(週1回 15週程度)

英語力モニターのためにTOEICテスト受験

DDコースの留学経費

渡航費

滞在費(留学奨学金支給)

宿舍費(留学先大学の学生寮に入寮、ただし光熱費は自己負担)

留学中の保険料



総合理工学府
学位記授与式

日本人DD留学生の声



- 特に協調性について学びました。いろんな国、宗教、性別の方々と話す中で自分の常識が通用しなかったからです。人と人、これが一番大切だと改めて感じさせられました。と同時に自分の**視野の狭さと勉強不足を痛感**しました。本当に**実りある半年**でした。
- 全く知人のいなかった韓国という環境で、そして全く自信のなかった英語でのみのコミュニケーションで、海外でこれほど多くの方と**交流する機会**を作れたこと、外国でこれほど仲良くできる友達を持てたことは、今回の留学で私は、一番の収穫だと思います。そして、4か月間生活をやり切ったという経験は、とても**自分の自信になる**と思います。
- 韓国では日本人である自分が韓国という外国でどのように生きるのか?について常に意識した半年間でした。同時に**自分を客観的に見直す**ことができる良い機会になり、**日本では当然のことが海外ではそうではない**といったことも気づくことができました。この半年間という経験がこれからの私の**人生に必ず良い影響を与えてくれる**と確信しています。
- 留学を通して学んだ事は、**自分から動いて飛び込んでいく**と自然と周りもついてきてくれるということです。中国には「一度友達になると、とことん面倒をみてくれる」という風潮があり、それは上海交通大学の留学生たちにも同じ事が言え、**人とのつながりの大切さ**を改めて彼らから学ぶ事ができました。
- 留学して中国の文化やいろんな人々に触れて、いろんなことを感じ、そして**自らの知見を広める**ことができたように思う。上海交通大学での生活は昨年上海交通大学に留学した先輩たちから聞いていたよりも辛くなく、とても楽しく、そして**とても有意義な**ものであった。
- 中国では、**日本ではなかなか経験できないことを体験**でき、そこからさまざまな重要なことに気付くことができました。中国に行って、**成長できた**と思います。

Voices from inbound students (from PNU and SJTU) awarded DD



- I like this program very much. I hope two universities continue to maintain their academic level
- I think this program is excellent and it is really a wonderful memory for me. However, the universities should work together to offer some research projects in which the students could conduct both in their home university and the host university.
- I hope the program would be expanded in a larger scale so that more students could participate in it.
- Quite perfect program! I hope the program will last long and long!
- This experience absolutely provided us wider outlook in the field of energy and environment. It is a plus-quality to international company.
- Research period was too short because, as you know, I had stayed in Japan for 6 month. So, I had difficulties to prepare my graduate defense.



CAMPUS Asia Plus EEST

Energy and Environmental Science and Technology

URL ▶ <http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/campus-asia>



九州大学 (筑紫キャンパス) 大学院総合理工学府

〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1

TEL ▶ 092-583-7502 FAX ▶ 092-583-7060

URL ▶ <http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>

CAMPUS Asia オフィス

TEL ▶ 092-583-7631・092-583-7632 FAX ▶ 092-583-7640

Email ▶ campusasia@tj.kyushu-u.ac.jp

教務課 教務係

TEL ▶ 092-583-7512

交通・アクセス

